

「子や孫の代まで継げる 未来のエネルギーです」

大潟共生自然エネルギー 太陽光発電所

1500kW



高橋浩人さん

50数年前に日本最大の干潟だった大潟湖を干拓してできた村が、いま私たちが暮らし、農業を営んでいる大潟村です。海拔マイナス4メートルのまっ平な土地なので、田畑に水を入れるにも排水するにもポンプを使う——つまり、電気は欠かせないんです。原発事故の教訓もあり、村役場と地元企業が連携し、村民も参加したメガソーラー事業に取り組むようになったのは自然な流れでした。私自身、パルシステムにコアフード米をお届けする産直産地「オーリア21」の代表も務めていましたが、農業とエネルギーで自立した村づくりを進めたくて、いま村長として先頭に立っています。長らく村は減反政策に翻弄され、今は米価の下落でなかなか先行きが見えにくい。だからこそ子や孫の代まで安心して暮らせる“土台づくり”に人生をかけたいと思っています。

